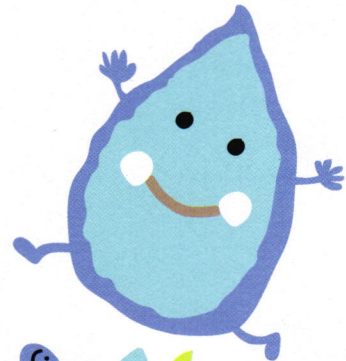
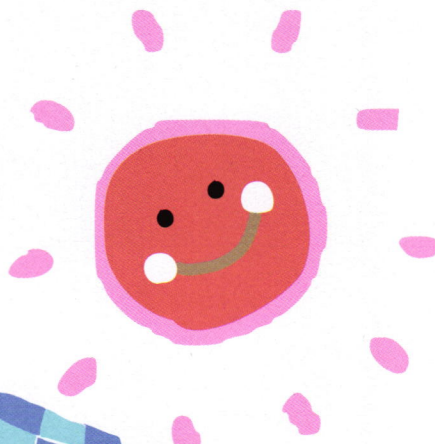
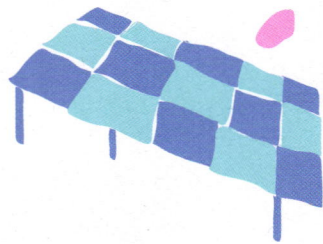




小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

おだわら再エネ

太陽光



水力



風力



再生可能エネルギーとは？

太陽は毎日昇り、水は山・川・海・空を循環します。太陽光、風力、水力・・・そのエネルギーは、一度利用しても比較的短期間に再生可能で、これら枯渇しないエネルギーを「再生可能エネルギー」といいます。

私たちが日常生活で使用するエネルギーのほとんどが化石燃料によるものです。しかし、それらは長い年月の中で形成された限りある資源なのです。

地球温暖化をはじめとする環境問題に直面し、化石燃料のみに頼らないクリーンで持続可能なエネルギーによる社会を創る必要性が高まっている現在、身近に存在する再生可能エネルギーの活用が叫ばれています。



「おだわら再エネ」が目指すもの

東日本大震災以降、環境配慮からの取り組みはもちろん、災害に強い街づくりの点からも再生可能エネルギーの普及はとても重要な課題となっています。そこで本市では、市内の学識経験者、地元企業、行政などが一丸となって、平成23年12月に小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会を立ち上げました。次の3つの言葉を基本理念とし、地域で消費するエネルギーをできるだけ地域で作り出す仕組みを検討しています。



創エネ
環境負荷の少ない
地域資源である
再生可能エネルギーの
普及



省エネ
見える化などによる
地域全体の
エネルギー消費の
削減

みんなのエネルギー
市民の力で地域のエネルギーを創る

「創エネ」

環境負荷の少ない地域資源である再生可能エネルギーの普及

「省エネ」

見える化などによる、地域全体のエネルギー消費の削減

「みんなのエネルギー」

市民の力で地域のエネルギーを創る



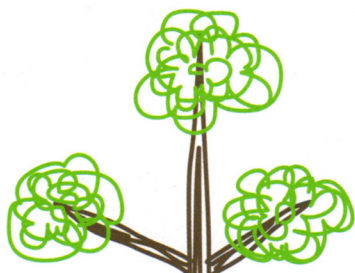
再生可能エネルギーに対するイメージ



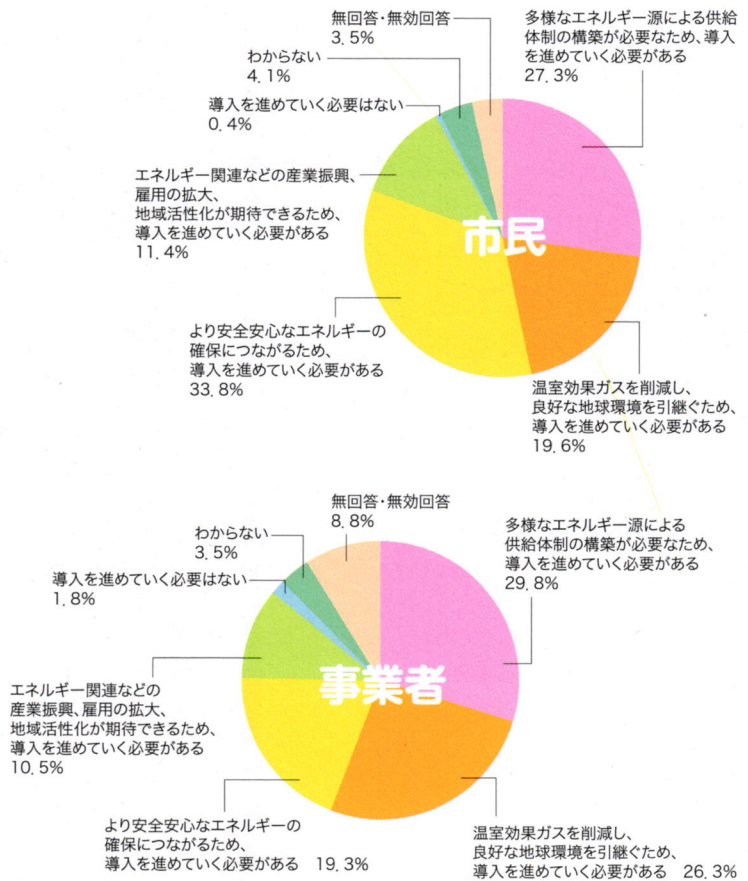
小田原市民や事業者のみなさんに再生可能エネルギーの活用についてのアンケートをしてみると、再生可能エネルギーの導入について、積極的に取り組むべきという高い意識をお持ちです。

その中で、みなさんが取り組むことができる太陽光発電にはどのようなイメージがあるのでしょうか。

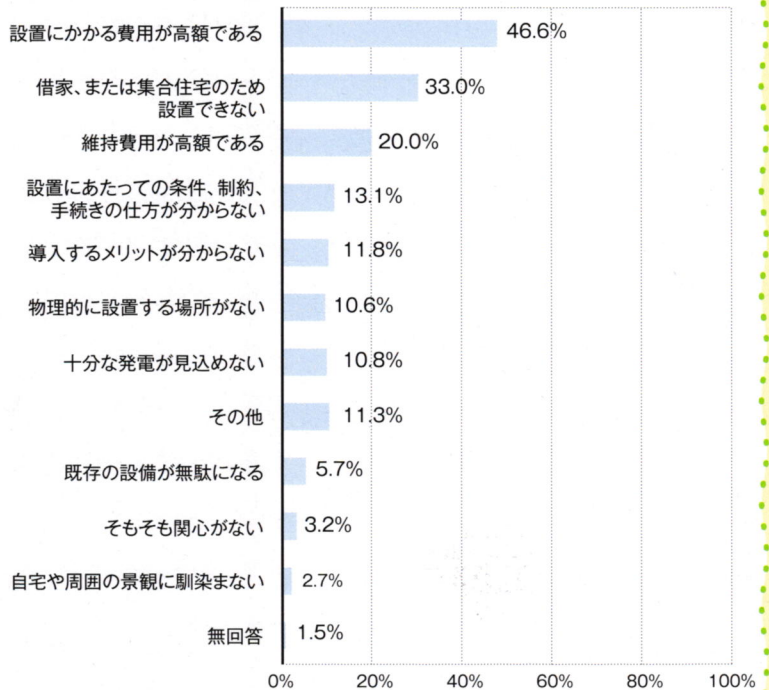
アンケートによると、やはり太陽光発電の設備は高額というイメージがあるようです。また、設置したいけど、マンションや集合住宅のため設置できないなどの状況がわかります。これらの課題を解決できれば、さらに普及が進むのではないのでしょうか。



再生可能エネルギー導入に関する市民、事業者の意識



太陽光発電設備の導入を検討しない理由



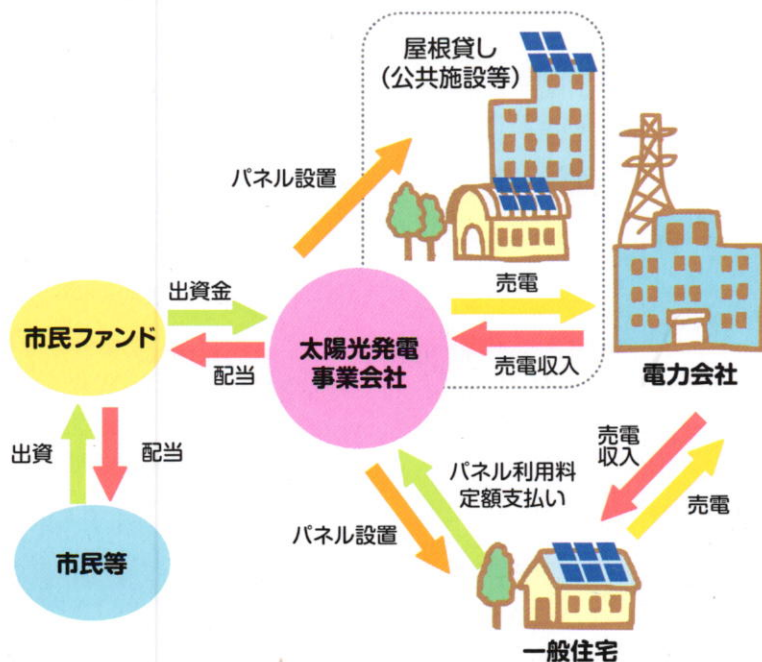
太陽光発電の普及に向けて

当協議会では、さまざまな再生可能エネルギーの中から、まずは多くの人が取り組める「太陽光発電」の検討に着手しました。

具体的には、出資金で公共施設等に太陽光パネルを設置し、発電による売電収入を出資者の配当にあてる仕組みや、一般住宅向けに、パネル利用料を毎月定額支払うことにより、初期費用0円で太陽光パネルを設置できる仕組みを検討しています。

家庭や身近な施設に太陽光パネルが設置され、自分たちの使う電力をより身近に感じることができます(エネルギーの見える化)。再生可能エネルギーの普及には、皆さまひとりひとりの高い意識とご協力が必要です。

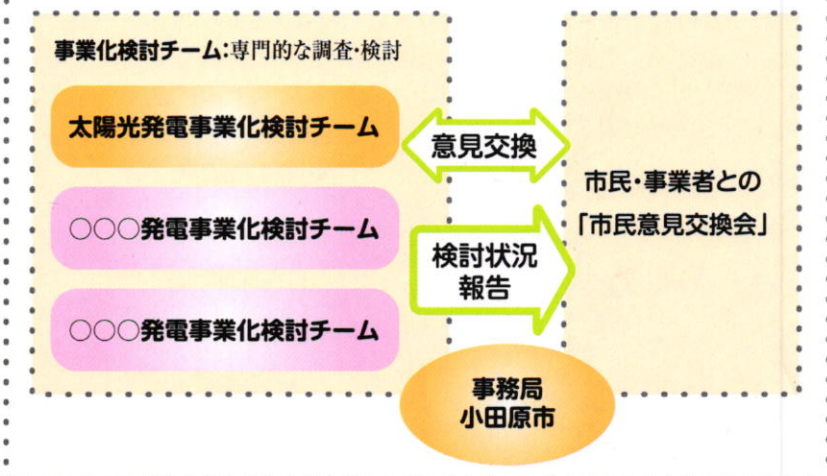
太陽光発電普及の仕組み(案)



小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会の紹介

小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会

役割:各種再生可能エネルギーの導入促進事業スキームの策定



当協議会は、市民・事業者との意見交換を行い、お互いの理解を深めながら、各種再生可能エネルギーの導入促進事業の立ち上げることを目的とし、取り組み全体を小田原市がバックアップをする官民協働の組織団体です。

本市は、環境省が募集をした、「平成23年度地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務」に採択され、国や専門家の支援を受けながら、再生可能エネルギーの普及を目指したモデル都市としての活動を続けます。

〒250-8555 神奈川県小田原市荻窪300番地
TEL.0465-33-1424 FAX.0465-33-1487

<http://www.city.odawara.kanagawa.jp/field/envi/environ/reproduction/>

小田原市 環境部